

AN.-25

資料番号		-01-002-01	-01-003-01	-01-003-01	-01-005-01
調査年月日		2005/7/12	2005/7/12	2005/1/11	2005/1/11
調査者		生谷 吉男	生谷 吉男	藤井 健三	藤井 健三
名称		染色標本帖	染色標本帖	染色標本帖	染色標本帖
糸	素材	木綿	木綿 緯錦	毛	毛
	タテ			毛、Z 44cm	毛、Z 32/cm
	ヌキ			毛、Z 30/cm	毛、Z 30/cm
色	地色				
	染料・顔料	赤(深紅)	赤(深紅)		
	タテ		赤	赤	赤
	ヌキ		うすい赤	ピンク	赤
加工技法	織技法	平織り	錦 先染め錦又は染め分け	紋緞子織	紋緞子織
	染技法	浸染 附標にAlizarine Yellow shade Trukey Red(トルコ赤)とありナフトール染色にアリザリン染料を添加したものと推定			
	その他		緯糸を防染加工して織り上げその後浸染にて染め分ける		
文様		浸染無地	植物柄	芥子花	薔薇文様
形状		裂地	裂地	裂地	裂地
用途		多用途	多用途		
特記事項			糸での防染加工が当時存在してもものと考えられるのでこの考えも捨てられない	経8枚朱子(3)地 緯8枚朱子地紋 紋か間18.6cm 紋丈29.2cm	経8枚朱子地、緯8枚朱子・緯8枚綾(＼)地紋 紋力マ18.7cm 紋丈28cm
調査所見		木綿にしては濃い赤色が染まっている			
製作地					
製作年					
織名称					
法量	縦	500	300	304	
	横	310	340	340	
	織耳				
備考			木綿にしては濃い赤色が染まっている		付札、表)Tarkey Red alizaine blue shade 裏)Badisel Aniline soda-Fabrik hudurTshaber a/Rnein

AN.-25

資料番号		-01-006-01	-01-009-01	-01-011-01	-02-001-07
調査年月日		2005/1/11	2005/1/11	2005/7/12	2005/2/7
調査者		藤井 健三	藤井 健三	生谷 吉男	藤井 健三
名称		染色標本帖	染色標本帖	染色標本帖	染色標本帖
糸	素材	毛	麻	木綿	絹 調査票では無記入
	タテ	毛 S/2・Z 毛 S/2・Z 24/cm	地・麻 Z		絹紡糸S/2・Z 58/cm
	ヌキ	毛 S/2・Z 毛 Z 26/cm	地・麻 Z 絵毛 S/2 Z		絹 甘S 32/cm
色	地色			経糸、緯糸とも同色 使い	
	染料・顔料			赤、グリーン、ブル ー、黒、白	
	タテ	赤・白 交代地経	地白		地：黒
	ヌキ	赤・黄土 交代地経	地白 絵赤		地：紫・白
加工技法	織技法	二重緞子織(経・緯)	錦織	平織	経5枚朱子地、地経浮地 紋・地緯綾地紋・地緯浮き 地紋 綾
	染技法			先染 塩基性染料ー タンニン媒染(緑と 青)、直接染料黒ー 顔色染法、赤ー直 接染料	化学染料染
	その他			染料処方写真原簿 に記載してある	
文様		幾何構成紋様	菊花	チェック柄	横縞に抽象柄
形状			裂地	裂地	裂地
用途				服地	服地
特記事項		平地、経4枚綾・緯5枚濡子地 紋、紋棠門不明、紋丈25.5cm、 二種の地経と二種の地経を交 代させて用い、赤×赤、白× 赤、赤×黄土、白×黄土、の四 種の地合と白×黄土、赤×黄 土、白×赤、及びその細織違い で地紋6種を作り出している。	平地、緯浮地紋、絵 緯(全越)緯8枚朱子 文 錦、紋棠門、紋 丈不明		地経・地緯による浮紋と綾 地紋で著した地紋(緞子) 織物。 紋丈:62mm 紋カマ:33mm
調査所見					AN25-2-02-008、AN25-2- 04-005、AN25-2-07-002 は、地緯色違いの同裂又 AN25-2-03-003は同裂
製作地					
製作年					
織名称					
法量	縦		147	240	102
	横		519	510	55
	織耳				
備考		付札、表)abzarine Red 裏)) Bootesal Aniline sodo -Fabrik handur Jsfober a Rein			

AN.-25

資料番号		-02-002-05	-02-003-01	-02-005-06	-02-005-07	-02-007-06
調査年月日		2005/2/7	2005/2/7	2005/7/19	2005/2/7	2005/2/7
調査者		藤井 健三	藤井 健三	生谷 吉男	藤井 健三	藤井 健三
名称		染色標本帖	染色標本帖	染色標本帖	染色標本帖	染色標本帖
糸	素材	木綿 調査票では無記入		絹、羊毛交織 平織り		
	タテ	木綿 Z 28/cm	絹紡糸? s/2・z 68/cm	絹	絹(引揃え)46/cm	絹s/2・z 68/cm
	ヌキ	木綿 z/2甘S 26/cm	絹 甘2. 28/a	羊毛	絹紡糸? Z/2・S 40/cm	絹 引揃え 28/cm
色	地色			白地 赤、黒 2色の捺染。他は地染めしている		
	染料・顔料					
	タテ	白	地: 黒		赤色	地: 白
	ヌキ	白	地: 赤・緑		赤色	地: 白、紫
加工技法	織技法	平織	経5枚朱子 他、地緯浮紋綾	緯糸 羊毛 本数の少ない絹糸で構成されている。従って要綱が表面に多く出ており、経糸本数が少ないために強度が低い	経5枚縐子地	経5枚朱子地、地緯浮地紋、綾
	染技法	銅版ローラプリント(ローラ経不明)	化学染料染	ローラー捺染で微小な点がきれいに捺染されている。顔料捺染	銅板ローラプリント(ローラ径不明)	化学染料染
	その他	カレンダー仕上げ		本ページ(1~8)は同じ生地と同柄配色違いの捺染		
文様		小花柄	斜十字柄	幾何模様 繊細な点が特徴	花文様織物の柄	小花柄に縞
形状		裂地	裂地	裂地	裂地	裂地
用途		服地	服地	服地、壁掛け地	服地	
特記事項			地緯による浮紋で著す 紋丈:46mm 紋カマ:不明		経糸2本を組として扱う(やすら径)	紋丈:76mm 紋カマ:46mm
調査所見			AN25-2-05-2と地緯糸違いの同織裂	非常に繊細な捺染表現	AN25-02-005-1,2,3,4,5,8は色違いの同裂地	AN.25-02-010-6,7と同裂
製作地						
製作年						
織名称						
法量	縦	54	101	100	63	103
	横	67	54	50	88	55
	織耳					
備考						

資料番号		-02-018-08	-02-022-06	-02-026-07	-03-004-01	-03-011-01
調査年月日		2005/7/19	2005/2/7	2005/7/19	2005/7/19	2005/7/26
調査者		川口 浩	藤井 健三	川口 浩	生谷 吉男	生谷 吉男
名称		染色標本帖	染色標本帖	染色標本帖	染色標本帖	染色標本帖
糸	素材	羊毛 平織り 模紗		絹	羊毛	羊毛
	タテ	羊毛	絹 S/2・Z 36/cm	絹	羊毛	羊毛
	ヌキ	羊毛	レーヨン 引揃え 24/cm	絹	羊毛	羊毛
色	地色	白地		黒無地 他は黒 地と白地が混在 している		淡青色 無地浸染
	染料・顔料				赤地	
	タテ		地：白、ピンク			
	ヌキ		地：白			
加工技法	織技法	平織り組織の中に模紗 組織を配す	平地 地経浮地 紋・地緯浮地紋 綾	1/2 綾（添付 ラベルにSATINと ある）	毛氈様のもの、生地 を起毛して縮絨し、プ レス加工したもの	平織り 糸の撚りは 少々甘い。 生地表 面に毛羽あり。
	染技法		化学染料染	浸染		浸染
	その他	白無地の中に模紗組 織を配し霞模様の外観 を呈している。				
文様		模紗の無地	チューリップ柄	無地	無地	
形状		裂地	裂地	裂地	裂地	
用途		服地、	服地	服地、	服地、	服地
特記事項			地紋カマ： 115mm 地紋 丈：不明			
調査所見				P26～34 までサ テン、タフタ、そ の他の無地生地	P1～4は同生地、異 色。 生地見本とみられる	表面加工は見られな い
製作地						
製作年						
織名称						
法量	縦	100	38	100	275 厚さ 5 mmの厚地	290
	横	50	178	50	230 厚さ 5mm の厚地	190
	織耳					
備考						

資料番号		-03-015-02	-03-024-01	-03-032-01
調査年月日		2005/7/26	2005/7/19	2005/7/19
調査者		生谷 吉男	生谷 吉男	生谷 吉男
名称		染色標本帖	染色標本帖	染色 標本帖
糸	素材	羊毛	羊毛	羊毛
	タテ	羊毛	羊毛	
	ヌキ	羊毛	羊毛	
色	地色	赤色 無地浸染	茶地	
	染料・顔料			白色繊維と黒色繊維の混織糸(霜降り糸)
	タテ			
	ヌキ			
加工技法	織技法	平織り 糸の撚りは少々甘い。表面に起毛加工で毛羽立せており表面から織り目が見えない。	平織り様のもの、生地を少し起毛して縮絨し、プレス加工したもの	霜降り繊維系を混合うしてフェルト加工して平板な布にかこうされている
	染技法	浸染	浸染,後染	先染め
	その他	おそらく起毛、縮絨、プレスの工程を経ているものと考ええる。		
文様		無地	無地	無地
形状			裂地	裂地 14×13 厚さ 2mmの厚地
用途		服地	服地、	服地、その他
特記事項		表面の起毛された繊維の先が分裂しており、白くなっているためにその他工程、例えば毛羽のガス焼き、がされているものと推定表面毛羽はお互いに絡んでおり、そのための加工があったのではない。縮絨加工でなったのかもしれない		生地表面の羊毛繊維がよく絡み合っており、毛羽立ちしてしておらず表面の平滑性が感じられる
調査所見			他の生地見本がいろいろの厚さや生地を集合させたもの	
製作地				
製作年				
織名称				
法量	縦	190	275 厚さ 1mm の厚地	裂地 14×13 厚さ 2mmの厚地
	横	110	230 厚さ 1mm の厚地	裂地 14×13 厚さ 2mmの厚地
	織耳			
備考				